

令和3年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

技術・家庭（家庭分野）

家庭分野

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	家庭 701
6 教図	家庭 702
9 開隆堂	家庭 703

技術・家庭（家庭分野）

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 6 教図 9 開隆堂

2 調査研究の観点

- (1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 家庭や地域との連携を図ることができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 写真、図表、資料等が適切であり、他の内容や題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究 観点(1)～(4)
 - ① 内容別の構成
 - ② 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示
 - ③ 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例
- (2) 問題解決的な学習に関すること 観点(1)
- (3) 生徒や学校、地域の実態に関すること 観点(2)
- (4) 各内容の構成等に関すること 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等の工夫に関すること 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材構成等			頁	図表	QRコード コンテンツ	写真	参考・資料
	編	章	節					
A家族・家庭生活	1	3	16	52	16	5	123	20
B衣食住の生活	3	7	33	162	115	30 (3)	242	47
C消費生活・環境	1	2	9	26	28	8	12	7
生活の課題と実践			12	10	1	1	14	1
合計	5	12	70	250	160	44 (3)	391	75

※内容Aにはガイダンスも含む。

※節については、内容A～Cの編のまとめも含む。『生活の課題と実践』は課題例数。

※QRコードコンテンツは、QRコードから読み取ったコンテンツ数。()は無料アプリから教科書ARが活用できる数。

※写真は、図表、資料、発展に含まれていないものの数。

※参考・資料は「資料」と「プロに聞く」の表示の数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との 関連	他教科との 関連	現代的な諸課題に関する教科 等横断的な教育内容との関連	小学校との 関連	発展
A家族・家庭生活	14	12	10	2	5
B衣食住の生活	61	26	108	11	2
C消費生活・環境	19	9	26	4	1
生活の課題と実践	14	2	1	0	0
合計	108	49	145	17	8

※A～Cのそれぞれの内容を主とする章での数。

※他題材等との関連は、他題材等ページへの「リンク」マークの数。

※他教科との関連は、「他教科」マーク、技術分野への「リンク」マークの数。コンテンツを活用できる「D」マークでのリンクも含む。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「消費」「環境」「防災」「伝統文化」「情報」のマークの数。

※「小学校」との関連、「発展」はそれぞれのマークの数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題
A家族・家庭生活	29	16	2
B衣食住の生活	48	89	28
C消費生活・環境	12	0	4
生活の課題と実践	1	0	12
合計	90	105	46

※A～Cのそれぞれの内容を主とする章での数。

※設定課題は「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」、「活動」マークの実践を伴わない課題の数。

※実践的・体験的な課題は「活動」マークの実践を伴う課題、(2)の関連表示がない実践的な課題の数。
※家庭等での実践を促す課題は「生活に生かそう」「私のオリジナル」の課題や『生活の課題と実践』の課題の数。

2 問題解決的な学習に関すること

- ガイダンスのページが14ページあり、問題解決的な学習の進め方、見方・考え方の例、小・中学校の学習内容、自分の生活をチェックする内容等が掲載されている。
- 全ての節の最初に「調べてみよう」「考えてみよう」等の課題が設定されている。
- 節には、「活動」が設定されている。
- 各編には、関連する見方・考え方の例、家族・家庭の基本的な機能の例が示されている。
- 調理実習、製作実習例では、「私のオリジナル」として工夫例を取り上げている。
- 布を用いた製作では、「工夫例」と製作を振り返る「チェック」が掲載されている。
- 見方・考え方を意識させるところに、ミカタンというキャラクターが掲載されている。
- 『生活の課題と実践』では、進め方や思考ツールが掲載されている。
- 『生活の課題と実践』では、実践例とともに、まとめ方や発表例が掲載されている。

3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 調理実習では、実習例と参考例が掲載されている。
- 日本各地の郷土料理では、全国の郷土料理を扱っている。
- 布を用いた製作では、バックや衣服、小物、リフォーム・リメイク、幼児のおもちゃなどの実習例があり、難易度も掲載されている。
- 調理に関する技能、製作に関する技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方が掲載されている。
- 幼児との触れ合い体験の実習例は、施設への訪問、中学校への招待、写真での観察の3例を取り上げている。

4 各内容の構成等に関すること

- 教科書の構成が食生活から始まっている。
- 章は、導入、基本ページ、学習のまとめ、の構成になっている。
- 基本ページは初めの活動、展開、まとめの活動の見開きの構成になっている。
- 全ての節の最初に「目標」、節の終わりに「まとめよう」または「生活に生かそう」が設定されている。
- 1～4編の最後に「持続可能な生活を目指して」、5編の最後に「地域での協働を目指して」のページが設けられている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 調理実習、製作実習のページには、基礎的な技能を確認する「いつも確かめよう」が設けられている。
- 巻末には、「子どもの視界体験眼鏡」「防災・減災手帳」の付録がついている。
- 脚注には、「せいかつメモ」が掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 実習や製作の手順を示しているところには、手順が横流れに配置されている。
- 内容と関連した職業についている人のメッセージ「プロに聞く！」が掲載されている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材構成等			頁	図表	QRコード コンテンツ	写真	参考・資料
	編	章	(番号)					
A家族・家庭生活	1	2	12	62	22	19	41	19
B衣食住の生活	1	6	29	167	91	78	300	36
C消費生活・環境	1	2	10	44	26	7	12	10
生活の課題と実践			8	10	0	0	17	0
合計	3	10	59	283	139	104	370	65

※内容Aにはガイダンスも含む。

※(番号)は内容A～Cの章のまとめも含む。『生活の課題と実践』は課題例数。

※QRコードコンテンツは、QRコードから読み取ったコンテンツの数。

※写真は、図、参考・資料、発展に係るマークや表示に含まれていないものの数。

※参考・資料は「メッセージ」「センパイに聞こう」の表示を含む。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との 関連	他教科との 関連	現代的な諸課題に関する教科 等横断的な教育内容との関連	小学校との 関連	発展
A家族・家庭生活	4	4	9	5	2
B衣食住の生活	26	16	39	19	3
C消費生活・環境	8	7	3	2	2
生活の課題と実践	13	0	0	0	0
合計	51	27	51	26	7

※A～Cのそれぞれの内容を主とする章での数。

※他題材、他教科との関連、小学校との関連は、「リンク」マークの数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「環境」「防災」「消費者」「伝統文化」のマークの数。

※「発展」はマークの数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題
A家族・家庭生活	21	4	12
B衣食住の生活	57	60	28
C消費生活・環境	24	0	8
生活の課題と実践	0	0	8
合計	102	64	56

※A～Cのそれぞれの内容を主とする章での数。

※設定課題は「話し合ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「発表してみよう」「思い出してみよう」「やってみよう」の課題の数。

※実践的・体験的な課題は(2)の関連表示がない実践的な課題と「つくってみよう」「観察してみよう」「試してみよう」の数。

※家庭等での実践を促す課題は「学びを生かそう」「私の課題例」や『生活の課題と実践』の課題の数。

2 問題解決的な学習に関すること

- 編に入る前に課題解決学習の流れが示され、教科書全体でその流れが統一されている。
- 「やってみよう」のページは、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップで構成されている。
- 番号のページには、主体的・対話的な学びができる「話し合ってみよう」「調べてみよう」等の課題が設定されている。
- 「学びを生かそう」のページでは、「課題設定のヒント」「私の課題例」が示されている。
- 調理実習、製作実習例では、「私のアレンジ」として工夫例を取り上げている。
- 調理実習、製作実習例では、「比べてみよう」で市販品と比較できるようになっている。
- 製作実習例では、「材料を工夫してみよう」で不要な衣服を再利用して製作する例も掲載されている。
- 調理実習例では、「どうしてこうなったのかな？」で失敗例を示し、なぜ失敗したのか考えられるようになっている。
- 『生活の課題と実践』では、編や章を示し、学んだことを生かせるようになっている。

3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 巻頭ページでは、年中行事や行事食が掲載されており、自分の家や地域の行事等も書き加えられるようになっている。
- 調理例では、肉・魚・野菜の題材にそれぞれ煮る、焼く、蒸す、の加熱調理例が掲載されている。
- 製作実習では、練習作品、実習例と分けて掲載されている。
- 調理に関する技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方が掲載されている。
- 幼児との触れ合い実習の「参考」では、学校で体験等できない時の具体的な手立てが掲載されている。

4 各内容の構成等に関すること

- 章は「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」の構成になっている。
- 章の導入ページには、小学校家庭科で身に付いたことや自分の生活を自己評価できる「自立度チェック」が掲載されている。
- 章の終わりには、「やってみよう」で身に付けた知識・技能を生かして課題に取り組む「学びを生かそう」のページが設けられている。
- (番号)には「めあて」終わりに「ふり返り」が設定されており、ふり返りには、自分の言葉で記入ができる「私の学び」も設定されている。
- 章立てが学習指導要領の内容、項目、事項の順になっている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- (番号)の「みつめる」では、内容に関連する中学校生活の一コマがイラストになっている。
- 献立を立てられる料理シールの付録がついている。
- QRコードコンテンツは、章ごとにまとまっている。
- 学習のふり返りの問題は、評価の3観点に対応している。
- 書体や色使い等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 各章末に内容と関連した職業についている人のメッセージ「センパイに聞こう！」が掲載されている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材構成等			頁	図表	QRコード コンテンツ	写真	参考・資料
	大項目	中項目	小項目					
A家族・家庭生活	1	5	19	66	36	42	77	18
B衣食住の生活	1	14	28	158	100	172	454	33
C消費生活・環境	1	4	13	40	34	14	16	8
生活の課題と実践			12	12	0	0	17	0
合計	3	23	72	276	170	228	564	59

※内容Aにはガイダンスも含む。

※小項目は内容A～Cの大項目のまとめも含む。『生活の課題と実践』は課題例数。

※QRコードコンテンツは、QRコードから読み取ったコンテンツの数。

※写真は、図表、参考、発展に関するマークや表示に含まれていないものの数。

※参考・資料は「参考」と「先輩からのエール」の表示の数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との 関連	他教科との 関連	現代的な諸課題に関する教科 等横断的な教育内容との関連	小学校との 関連	発展
A家族・家庭生活	36	11	2	3	2
B衣食住の生活	29	49	34	13	3
C消費生活・環境	14	14	0	6	1
生活の課題と実践	0	0	0	0	0
合計	79	74	36	22	6

※A～Cのそれぞれの内容を主とする中項目での数。

※他題材等との関連は、他題材ページへの「リンク」マークの数。

※他教科との関連は、「他教科他分野」マークの数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「環境」「防災」「伝統文化」のマークの数。

※小学校との関連は、「小学校での学び」の表示数。

※「発展」はマークの数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題
A家族・家庭生活	37	5	4
B衣食住の生活	51	56 (6)	10
C消費生活・環境	22	0	4
生活の課題と実践	0	0	12
合計	110	61 (6)	30

※A～Cのそれぞれの内容を主とする中項目での数。

※設定課題は「話し合ってみよう」「発表しよう」「やってみよう」「考えてみよう」の課題数と小項目ごとの導入課題の数。

※実践的・体験的な課題は(2)の関連表示がない実践的な課題の数。()は「実験」の数。

※家庭等での実践を促す課題は「生活にいかそう」のマークがついている課題や『生活の課題と実践』の課題の数。

2 問題解決的な学習に関すること

- 全ての小項目に導入課題が設定され、教科書に自分の言葉で記入ができるようになっている。
- 「図」には、本文の根拠となる資料等が掲載されている。
- 中項目ごとに「生活にいかそう」の総合課題が設定されている。
- 小項目には「話し合ってみよう」「やってみよう」等の小課題が設定されている。
- ガイダンスのページでは、家庭分野の見方・考え方である「生活の見方・考え方」の説明や生活への生かし方が掲載されている。
- ガイダンスのページでは、主体的・対話的で深い学びについての学習の進め方が掲載されている。
- 調理実習例には「調理方法のQ&A」があり、科学的な根拠が記載されている。
- 『生活の課題と実践』では実践例とともに、まとめ方や発表例が掲載されている。

3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 日本各地の郷土料理では、全国の郷土料理を扱っている。
- 調理実習で使用する食品でアレルギー物質を含むものについては、黄色のマーカーで示している。
- 製作実習例には応用編が掲載されている。
- 調理に関する技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方が掲載されている。
- 幼児との触れ合い体験の実習例は、保育所や幼稚園への訪問、中学校への招待、映像での観察、本や映画などからの体験、子育て支援センター等へ訪問の5例を取り上げている。

4 各内容の構成等に関すること

- 全ての小項目の最初に「学習の目標」が設定されている。
- 中項目ごとのふり返りは、教科書に自分の言葉で記入ができるようになっている。
- ガイダンスのページはSDGsの目標について取り上げ、内容A～Cと関連させている。
- 内容A～Cの最後の中項目は「持続可能な○○」というSDGsのページとなっている。
- 内容A～Cの大項目（Bの衣食住はそれぞれ）の最初のページには、学習の前後で興味を持ったことを書ける欄が設けられている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 脚注には、「豆知識」が掲載されている。
- 巻末には、「災害からいのちと生活を守るために」が8ページ設けられている。
- 実験の手順や結果がQRコードコンテンツから確認ができるようになっている。
- 学習のまとめの問題は、評価の3観点に対応している。
- 実習や製作の手順を示しているところには、手順が横流れに配置されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 内容と関連した職業についている人のメッセージ「先輩からのエール」が掲載されている。

